

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	成城大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	セイジョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103126
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	成城インターンシップ
	学部・研究科等名	全学共通教育科目(キャリアデザイン科目)
	担当教職員名・役職	鈴木 寿彦:非常勤講師
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	29
	受入企業等数	69
	受入企業等名	イオンフィナンシャルサービス株式会社、株式会社内田洋行、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社大林組、株式会社紀伊國屋書店、高見株式会社、株式会社東京ドームホテル、株式会社ドウシヤ 他61社
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	3.海外でのキャリア形成支援活動 6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動
	上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	大学での学びを大学外の活動(実社会)と連携させることを目的に、各実習先で営業同行、接客、事務作業等の業務を体験する。また実習最終日には、各企業で報告会を実施し、就業体験で学んだことを社員に向けて発表する。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部1年生から4年生を対象に、夏季休業期間中の5日間以上の就業体験を組み合わせたキャリアデザイン科目「成城インターンシップ」として実施している。企業や団体での就業体験を通して、実社会への理解を深め、就職の際にあるいは就職した後に、どのような問題や課題に直面するかを考えることができるようになることを目指す。単位認定については、2単位を付与している。

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	教職員が実習期間中に定期的に学生に接触。週報等も活用しながら、状況に応じてフォローしている。	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全4回の事前学習を実施。 第1回:オリエンテーション, グループワーク練習 第2回:インターンシップの現状理解、企業研究 第3回:インターンシップに参加する目的意識の明確化, インターンシップに関するグループワーク 第4回:ビジネスマナー研修	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	全3回の事後学習を実施。 第1回:グループワークにて実習内容の振り返り・共有 第2回:成果のプレゼンの仕方について講義 第3回:インターンシップに関する成果の発表	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	教職員が実習期間中に学生と定期的に接触し、実習参加状況を確認。週報等も活用しながら業務の進み具合や抱えている課題をヒアリングし、状況に応じてフォローしている。	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み			
4-3.上記回答内容に関する詳細		事前事後のアセスメント受験による効果測定を行っている。実習前後での意識の変化、行動変容を客観的に把握することで、インターンシップの教育効果を可視化するとともに、学生においては、自己の興味・関心、職業適性への理解を深めるきっかけとしている。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5～19日間(受入先企業による)
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	夏休みまでの間に各履修生が国内・海外における実習先を確保し、夏休み期間中に5日間40時間以上の就業体験を行う。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
		5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
6.企業と協働して、PDCAを実施している		
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容		
6-3.上記回答内容に関する詳細	本学インターンシップの目的を理解いただいたうえで、受入先企業に実習内容を策定いただいている。また受入先企業にはフィードバックシートの作成を依頼し、学生の振り返りに活用している。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.seijo.ac.jp/about/syllabus/	
問い合わせ先	大学等名	成城大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	植木 紀之
	電話番号	03-3482-9063
	メールアドレス	internship@seijo.ac.jp